

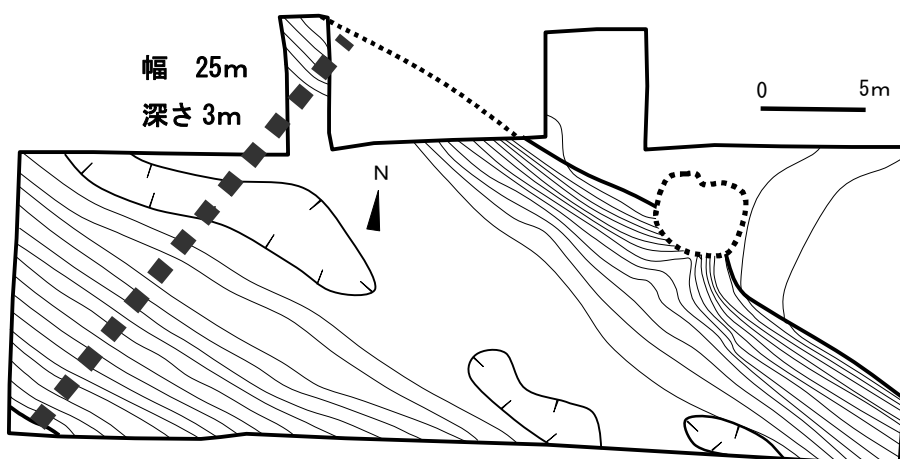
とりいまついせきつうしん
鳥居松遺跡通信

Nº8

(財) 浜松市文化振興財団・浜松市文化財担当課

2008年4月5日

伊場大溝を完全に掘りあげました。



■ 大溝完掘状況図

■ 完掘した大溝

木簡や金の刀など貴重な遺物が出土した伊場大溝（いばおおみぞ）を、完全に掘りあげました。

今回の調査で確認した溝の規模は幅25m、深さ3mにも及びます。

大溝の底では土器が敷き詰めたように出土しました。

大溝の底では、古墳時代後期（約 1450 年前）の土器が、大量に出土しました。中には、土器が敷き詰められたような状態で出土した部分もありました。当時の大規模な集落が大溝の近くにあったことをうかがわせます。



■ 大溝底面の土器集積

大溝の底から出土した土器の量は驚くほど多く、収蔵用コンテナで 100 箱を超えました。

4 月中旬から 5 月上旬まで 調査を一時休止します。

4 月中旬から、今までに調査した部分の埋め戻しを行い、新たな調査区の掘削を始めます。このため、5 月上旬まで発掘調査を一時、休止します。この間、出土品などの見学は可能です。是非、発掘調査現場に足をお運びください。

